

「学力向上ポートフォリオ(学校版)」

～ 「真の学力」 育成の継続的な取組を目指して ～

＜本年度の学力向上基本方針＞

合言葉「元気・やる気・勇気」で
「わかった!」「できた!」「もっとやりたい!」
生き生きと学ぶ原山っ子の育成!

＜本年度の学力向上策＞

1 学力向上の基盤となる学級経営の充実

- (1) 学習規律の徹底「時間を守る、身の回りを整える、学習のルールを身に付ける」
- (2) 道徳教育の充実～2年間の道徳の研修を生かして～

2 子どもたちが主体的に学ぶ授業づくり

- (1) アクティブラーニングの視点からの授業改善
- (2) 国語の研修を中心とした授業実践の蓄積

3 全国学力・学習状況調査とさいたま市学習状況調査の結果の分析と活用

- (1) さいたま市学習状況調査から見られる各教科の成果と課題の把握
- (2) 学力向上カウンセリング学校訪問を活用した調査結果の分析と学力向上策の見直し
- (3) 質問調査紙の生活習慣に関する回答状況の分析

4 家庭・地域との連携

- (1) 家庭学習の充実「めざせ学年×10分」
- (2) 地域の人材の活用・充実(チャレンジスクールの充実、スクールサポートネットワークの活用)

＜本年度の振り返り＞

- 1 「原山スタンダード」(大まかな共通指導事項)を教職員間で共有しながら、各学級学習規律の徹底を図った。また、2年間の道徳の研修を継承し、「考え、議論する道徳」の授業を積極的に行った。
- 2 児童の表現する力が身に付くように、国語科を中心に研修を進めた。特に、「よい授業」4つの因子の一つである「児童生徒の活動」を大切に、授業に積極的に取り入れ、アクティブラーニングの視点から授業改善を行った。
- 3 全国学力学習状況調査やさいたま市学習状況調査の結果を分析したり、実際に問題を解いたりするなど研修会を行い、授業改善に生かした。各教科において、昨年度の自校の結果より伸びがみられた項目が多かった。
- 4 保護者と連携し、懇談会で「めざせ学年×10分」を合言葉に働き掛け、家庭学習の充実を目指した。また、今年度も地域の人材を積極的に活用し、チャレンジスクールの活動や、スクールサポートネットワークを活用した教育活動の充実を図ることができた。